

令和3年度 旧日本銀行新潟支店長役宅「砂丘館」 指定管理者事業計画

1. 運営の基本方針

一般見学、貸室、自主事業の3つを柱として、建物の風格にふさわしい文化の香り漂う場として、市民により親しまれる施設となることを目指します。

2. 自主事業

別紙のとおり

3. 一般見学、貸室

○ 一般見学の集客計画

砂丘館は静かな落ち着いた雰囲気を楽しみに訪れる方が多い施設です。入館者数を増やすことだけを目標にするのは馴染まないと思っております。また、コロナが終息しないことから入館者数を2,000人減の10,000人とします。貸室を過度に増やすことは見学するスペースが減ることになり見学者の不満につながります。現状が見学者数、貸室実績ともに程よいのではないかと考えます。

○ 貸室の利用促進計画

利用促進の広報と、利用者へのサポートを進めていきます。

多様な用途で利用できること、飲食も可能であることなどを積極的にアピールしていきます。現在すでに行っている、テーブルや座布団、お茶道具などを貸し出しするサービスについてもさらに広報で積極的にアピールしていきます。

また、展覧会・コンサートなどの利用では、準備段階からサポートを行い、利用促進を図ります。

4. 人員体制

○ 施設職員

職 種	員 数	備 考
館長	1名	学芸員
受付	4名	
生活文化企画運営担当（非常勤）	1名	
自主事業担当（非常勤）	1名	

○ 本社職員

本社指定管理担当職員（本社勤務）	1名
------------------	----

本社は、館から報告を受けるとともに、随時必要な指示と支援を行います。

5. 自己評価の手法

広く施設見学者・利用者の生の声を集めるために、アンケートや感想ノートを常備します。また、自主事業時にはその都度アンケートを実施し、感想・意見を集めます。

アンケートの回収率を上げるため、イベント時にはアンケート用紙をチラシと一緒に渡し、イベント終了後書いていただくよう声掛けをします。

毎月、館職員・非常勤職員、新潟ビルサービス担当者を交えた運営ミーティングを実施し、施設見学者・利用者の意見や要望を検討します。導き出された改善点や新たなアイデア見学者・利用者が関心を持てるような企画または運営方針を再構築し運営に活用します。

6. 収支予算

【収入】

(単位：千円)

科目	金額	主な内容
指定管理料	12,687	市からの委託料
自主財源	2,375	イベント収入、企業メセナ、寄付金、喫茶収入等
合計	15,062	

【支出】

(単位：千円)

科目	金額	主な内容
人件費	10,022	
管理費	2,665	光熱水費、施設案内パンフ作成・発送費等
自主事業費	2,375	人件費、企画展作家謝礼、チラシ作成費、喫茶運営費等
合計	15,062	

砂丘館 2021 年度自主事業計画 (26 事業)

- ① **自主企画展**／新潟のすぐれた美術家や、新潟に関わりなく、すぐれて現代的意義を持つ作家の個展やグループ展をギャラリー他を会場に開催する。(5 事業)

企画展

映像展示2021-2展

前期 4月13日(火)～25日(日) デニス・ブラン

後期 5月11日(火)～23日(日) 遠藤龍

毎年1月、または1～2月に開催してきた映像展示を今年度から春に開催する。今回はフランスのアーティストであるデニス・ブランの詩的な夢幻感漂う「Ready, steady... No! (」と毎年紹介してきた mikkyoz のメンバーで映像担当の遠藤龍の単独作品「SILENCE」を紹介する。



上 デニス・ブラン「Ready, steady... No! (」 下 遠藤龍「SILENCE」より

渡辺隆次 胞子紋絵画展 (仮称)

5月27日(木)～7月11日(日)

2006年に砂丘館で「きのこのスケッチ展」を開催した渡辺隆次。2月に刊行された『森の天界図像 わがアイコン 胞子紋 渡辺隆次きのこ画文集』を記念し、定着した胞子紋(紙に置おかれたきのこの葉から落ちた胞子がつくる紋様)を用いて描かれた絵画を中心に展示する。



渡辺隆次作品

光・写真・世界

Mi-Yeon 「Truth is One」(前期)

中里和人 「Night in Earth」(後期) (仮称)

前期 8月5日(木)～9月5日(日)

後期 10月1日(木)～10月31日(日)

インドの明るい光と祈りの空間を撮った Mi-Yeon、日本各地の海岸の「夜」を撮影した中里和人。写真が見つめた対照的な光の空間を前期と後期に分け展



Mi-Yeon 作品



中里和人作品

特別展示 足立照久曲輪の球体

11月9日(火)～21日(日)

寺泊の現役の曲げわっぱ職人である足立照久が伝統の技を用いて創り出す不思議な球体によるインスタレーション。



曲輪の球体

石川九楊 展

2022年2月2日(木)～3月27日(日)

批評や研究も内在化させた独創的な「言葉と書」の表現を実践してきた書家石川九楊の代表作と、敬愛する良寛の言葉を書いた新潟ゆかりの作品、近作を紹介する。



石川九楊作品

② **芸術文化の活動**／蔵や居間・茶の間・座敷を会場に、新潟の音楽家、パフォーマーの公演を行う。

実施予定の活動（7事業）

- ・堀川久子ダンス公演（4月4日・11日 ほか年3～4回開催予定）・薫風之音ライブ（6月27日）
- ・宮本尚晃・能勢山陽生ライブ（7月16日）・柴幸男による演劇ワークショップと公演（9月25日26日）
- ・津軽三味線小林組。ライブ（10月7日）・ファビオ・ボッタツツォ/田中トシユキジャズライブ（12月18日）
- ・岡本官之助新内公演（3月19・20日を予定）

③ **生活文化の活動**／伝統的な住空間を生かした日本の生活文化を体験する催しを行う。（6事業）

・市民グループ「しつらい倶楽部」（主催：坪井蓉子）の協力で催し

- ・五月人形展示（4月20日～5月16日）
- ・庭hibiki（仮称）（5月30日）篠笛とピアノと朗読
- ・秋HIYORI（和菓子を楽しむ夕べ＊「竹あかり花あかり連携企画」）協力：百花園・丸屋本店（9～10月）
- ・香道入門講座（2022年2月）
- ・庭園実技講習： 松と高木の剪定 7月3日（土）を予定
- ・庭園実技講習： 雪囲いと雪吊り 11月13日（土）を予定

④ **セミナー**（2事業）

・砂丘館セミナーの開催 1事業を予定

芸術文化・生活文化について 講師を招いてセミナーを開催。

予定のテーマ（「日本建築入門」を検討中）

- ・初心者のためのふるまちな新潟をどり鑑賞講座 8月28日を予定

⑤ **連携事業**（2事業）

近隣施設との連携企画（企画展以外・2事業を予定）

同じ西大畑・旭町かいわいの文化施設と連携・協力して催しを行う。

- ・「竹あかり 花あかり」連携企画（竹灯籠による庭園ライトアップなど）
- ・新春神楽めぐり 2022.1月（旧齋藤家別邸と連携）

⑥ **その他**（4事業）

・解説ボランティア養成講座

砂丘館の建物、庭について解説のできるボランティアを養成する講座（全3回）

・花と絵による館内のしつらい

ボランティアによる生け花、「砂丘館セレクション（新潟市内の所蔵家から借用した絵画）」で館内を飾る。

・見学者への解説

解説ボランティア養成講座を受講したボランティアにより、来館者に館内と庭園の解説を行う。

- ・ボランティアによる庭園清掃（4-7月 9-12月）